



**TRAM SYSTEM**

**NEWS LETTER**

**Ver. 2015. 09**

## 今月のコンテンツ



### iPad

- ◎ **大型iPad「iPad Pro」 ついに発売へ**
  - ・最大のライバルSurfacePro3を超えられるか!?



### モバイル戦略

- ◎ **進むスマホ、タブレットの業務利用**
  - ・モバイル端末、業務利用の重要性



### IT運用管理

- ◎ **増え続けるIT運用管理の課題**
  - ・IT運用管理にほころび



朝夕はだいぶ過ごしやすくなってきましたね。  
なんならちょっと肌寒いくらいで、私も今朝から鼻水が滝のように・・・。  
季節の変わり目、どうぞご自愛くださいませ。

さて、今月の注目すべきITニュースとしては「iPad Pro」が発表されました。同タイプで先行し、圧倒的なシェアを誇る「SurfacePro3」を上回るといわれる性能を見ていきたいと思えます。併せて、タブレットの業務活用が多様化しており、成功例や問題点をご紹介します。

## ◎ 大型iPad 「iPad Pro」 ついに発売へ

### 最大のライバル SurfacePro3 を超えられるか!?

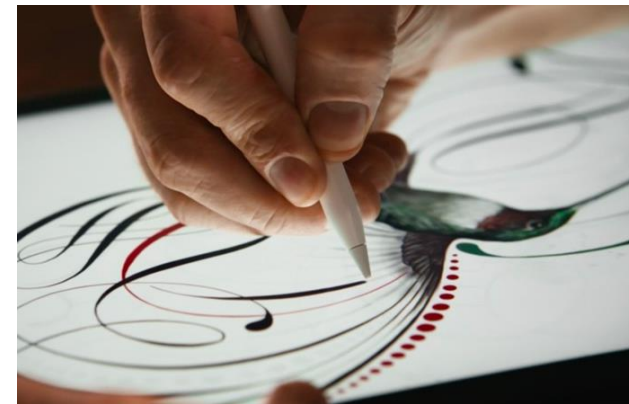


米Appleは2015年9月9日、新型タブレットの「iPad Pro」を公表しました。ここ数年の間に利用が広まった、着脱可能キーボードが付いたWindows系タブレットに照準を合わせたものです。2015年11月以降発売予定です。価格は32GB(799ドル)モデル～128GB(999ドル)モデルまで。国内価格はまだ未公表です。

12.9インチの「Retinaディスプレイ」は、解像度が2732×2048ピクセルのタッチスクリーンです。動画にも強く、画質の面からは追従をゆるさぬ性能を誇ります。計算性能は「iPad Air2」に比べ、1.8倍と発表されていますが、「iPad Air2」が「SurfacePro3」と比較した場合、計算性能が50%未満とされているので、計算性能では「SurfacePro3」に軍配が上がりそうです。

今までiPadユーザーが待ち望んでいた画面の分割使用が可能になり、使い勝手が向上しています。

iPad Proの発表イベントにはMicrosoftの担当者も登壇し、iPad用Microsoft Office新版を発表、Windowsに慣れ親しんだ層からの囲い込みを目指します。



#### Apple Pencil

ペンの傾きや筆圧を感知し、線の強弱を表現できます。スルスルとした動作でレスポンスも申し分なく、クリエイターにとっては革新的なタブレットになる可能性を秘めています。

## ◎ 進むスマホ、タブレットの業務利用

### モバイル端末、業務利用の重要性

日本IBMの調査によると、モバイル、タブレットの意欲的な業務利用を活用している企業は、サービス提供、効率性、顧客満足度において同業他社よりもはるかに高いパフォーマンスを示しているようです。

「前年比、収益が10%向上」、「同業他社と比べて業績が良い」などのメリットが生じており、特に顧客サービスの向上や顧客との対話の改善は、高い投資対効果をもたらしています。



日本の企業では生活雑貨を手掛ける東急ハンズが、約2300台のiPodTouchを導入、商品情報の検索や在庫確認はもとより、翻訳やコスメ、乗換案内など一般でも無料で使えるものを活用しています。

来店客が「ネットで見たんですけど・・・」とスマホ片手に問い合わせることが多くなっており、今まではネットが出来るPCのある場所まで走って確認してたが、iPodTouchの導入によりその場で来店客と同じ画面を確認しつつ商品の位置、在庫状況をすぐに確認できるようになりました。

顧客サービスの向上と、顧客との対話の改善の成功例と言えるでしょう。IDC調査によるとスマホ、タブレット、PCの業務利用は2016年までに20億台から52.5億台に伸びると見られています。

運用管理はますます複雑になっていきますが、今日の企業においては設備投資の重要項目筆頭といえるでしょう。

東急ハンズが導入した iPodTouch  
店舗業務支援端末

## ◎ 増え続けるIT運用管理の課題



左でもご紹介しましたが、企業におけるITシステムやモバイル利用は今後の企業趨勢を占う上で避けては通れない時代になりつつあります。

しかし、運用しているシステムはたくさんあるのに「IT担当者は1人しかいない」、「社長が兼務している」という企業が大半を占めています。「増税やマイナンバー導入によるシステム改修」、「システム担当者が退職して現状のシステムが把握できない」など、システム部門における重要性に反して体制が不十分で難儀している方も多いのではないのでしょうか。

IT運用管理における代表的な問題として

### ・サーバーのOSの保守期限が切れている。

保守期限が切れたOSにはセキュリティパッチなどの修正プログラムが配布されず、ウィルス感染等のリスクが高くなります。

### ・増え続けるファイルサーバー

最初は小規模で導入したものの、部署ごとに増設してきた結果、管理が大変な手間に・・・。

### ・クラウド活用したいが・・・

IT運用担当者に経験が乏しく何から手を付けていいかわからない。  
クラウド移行したが、使い勝手が悪い。  
コスト削減目的だったのにむしろ高かった。

同業他社の導入実績を参考にしても、ちょっとした規模や企業の方向性の違いで運用管理は大きく変わります。例えばOSの保守期限が切れたからと言って必ずしもサーバを入れ替えないといけないわけではなく、場合によってはOSのバージョンUPだけで済むこともあります。

IT運用管理にはかなりマニアックな知識が幅広く必要になります。まずは専門業者に小さなことからでも相談されることをお勧めします。



トラムシステム株式会社

〒465-0063

愛知県名古屋市名東区新宿2丁目55番地

TEL:052-701-2634

FAX:052-701-2637

Mail : [info@tramsystem.jp](mailto:info@tramsystem.jp)